

事項	うめ・あんずの交雑和合性																																	
ねらい	うめ・あんずは自家結実の割合が低く、結実確保のためには他家授粉が必要である。このため主要品種について、交雑和合性を検討したところ、品種間の和合性の関係が明らかになったので参考に供する。																																	
指 参 考 励 内 容	平成12年までの交雑和合性試験の結果は以下のとおりである。																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">花 粉 めしべ</th> <th>う め</th> <th colspan="4">あ ん ず</th> </tr> <tr> <th>節 田</th> <th>八 助</th> <th>平 和</th> <th>新潟大実</th> <th>信州大実</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊 後</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>節 田</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>八 助</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>					花 粉 めしべ	う め	あ ん ず				節 田	八 助	平 和	新潟大実	信州大実	豊 後	△	○	○	○	○	節 田	×	○	○	○	○	八 助	△	○	○	○	○
花 粉 めしべ	う め	あ ん ず																																
	節 田	八 助	平 和	新潟大実	信州大実																													
豊 後	△	○	○	○	○																													
節 田	×	○	○	○	○																													
八 助	△	○	○	○	○																													
	注) ○：10%以上の結実率 △：5～10%未満の結実率 ×：5%未満の結実率																																	
期待される効果	栽植時における適切な授粉樹の選択が可能となり、安定生産が図られる。																																	
利用上の注意事項																																		
担 当	青森県りんご試験場県南果樹研究センター 栽培育種部	対 象 地 域	県下全域																															
発 表 文 献 等	平成12年度 青森県りんご試験場県南果樹研究センター成績概要集																																	

【根拠となった主要な試験結果】

表1 主要品種間の結実率 (平成11、12年 青森りんご試県南果研セ)

年	めしべ	花粉	交配花数	結実数	結実率 (%)
平成 11 年	豊 後	節 田	79	7	8.9
	節 田	八 助	44	12	27.3
		平 和	71	29	40.8
		新 濁 大 実	28	3	10.7
	八 助	平 和	57	17	29.8
		新 濁 大 実	48	7	14.6
信 州 大 実		56	14	25.0	
平成 12 年	節 田	信 州 大 実	74	20	27.0
	八 助	節 田	26	2	7.7